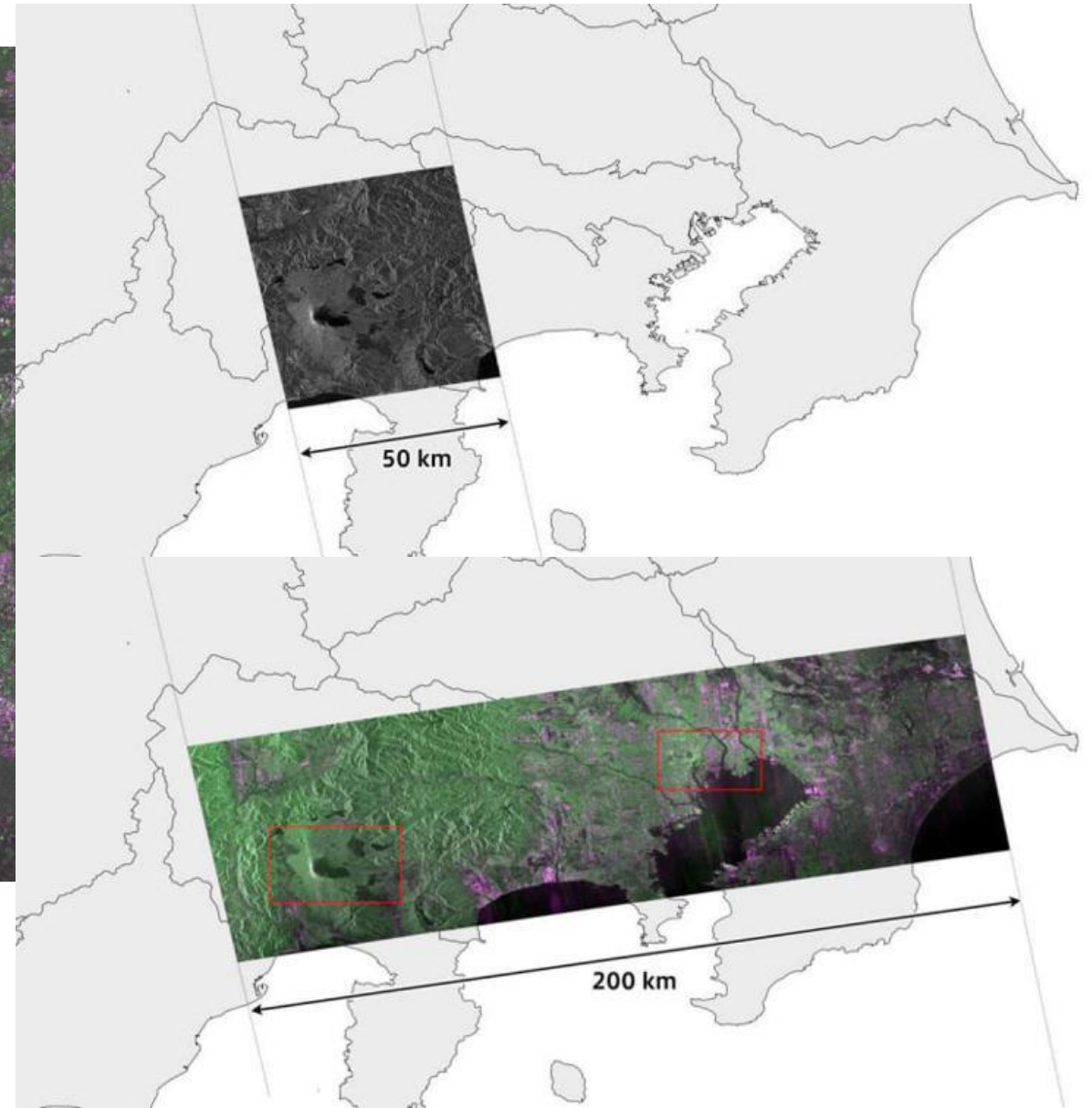


「だいち4号」は地球観測衛星として世界最高性能(2024年7月現在)の3.6Gbps(1.8Gbps×2系統)の高速データ伝送が可能で、これにより発生データ量が大きな高分解能(3m)の観測でも、HH偏波(水平偏波送信・水平偏波受信)およびHV偏波(水平偏波送信・垂直偏波受信)による2偏波観測が常時可能になった。撮影した画像は、この2偏波のデータから合成した疑似的なカラー画像で、緑色が植生、明るい紫色や黄緑色が市街地、暗い紫や黒は裸地や水面などを表す。偏波情報により地表の状況の判別が容易になることで、災害状況の把握や森林伐採の監視などへの活用が期待される。

H3ロケットで打ち上げた「だいち4号」、初観測画像公開



2024年7月16日午後9時10分頃に撮影したフランス・パリ周辺の観測画像。2024年パリオリンピックの主要な会場が白丸で示めされている((1)メイン会場であるスタッド・ド・フランス、(2)ポルト・ド・ラ・シャペル・アリーナ、(3)コンコルド広場、(4)エッフェル塔スタジアム、(5)パルク・デ・フランス





PALSAR-3による富士山周辺



PALSAR-3による東京都心の拡大画像